

むかいしま ゆた しぜん い 『向島の豊かな自然と生きもの』

だい かい 第55回 「標本箱」

こんちゅうひょうほん つく はじ ころ なが てもと お き
昆虫標本を作り始めた頃は永く手元に置いておく気ではなかったので、プラスチックコ
ップやプリンカップに、標本にした虫を入れて眺めては楽しんでいた。

み えやす く (見えやすいことが大事) 微細な虫を守るためにカップ標本箱を手作りしてい
たが、保管場所も狭くなり、博物館や昆虫館で本物の標本を見るたびにちゃんとした
ひょうほんばこ ぼ
標本箱が欲しくなった。

こうか かいもの せしたろ うつ なら か とき しろうと あつ むし
高価な買物になったけれど、虫達を移して並べ替えた時、素人が集めた虫ではあるけれど
じつ 実にしゃんと！立派に見えた。

むし と くろう おお
虫を採るのも苦労が多いけど、それらを苦心して仕上げた標本は良い状態で保存するこ
とが最も大切なわけで、これを持続するには保存に適した箱が要る。

ひょうほんばこ なか むし せいぶつてき ぶつりてき かがくてき えいきょう がいちゅう じしん しっけ う
標本箱の中の虫が、生物的・物理的・化学的な影響(害虫や地震、湿気など)を受けな
いようにできる限り避けなければならず、桐材製では湿度が高い時は湿気を吸って膨張し
てわずかな隙間がふさがるといふ利点があり、軽い桐材製印刷型標本箱が適している。

ひょうほんばこ そこ ばん は こんちゅうばり ます さ てき
標本箱の底にはポリフォーム板を貼り、昆虫針を真っ直ぐに刺すことができる。
ガラス蓋箱は、通称ドイツ型標本箱と呼ばれ、サイズも決まっているようで、私はこれ
をつか 使っている。

ひょうほんばこ あ なに ひょうほんかんり ほそん もっと てき
ほかにも標本箱としていろいろと有るようで、何を標本管理保存するかで最も適した
箱を選ぶ必要がある。さらに多くの標本箱を収納するために、タンスのような形式で引き
だし 出している標本タンスが市販されており便利である。

むし まも せんよう はこ ぼうちゅう ぼう ひょうほんばこ なか
このように虫を守る専用の箱があるが、それでも防虫・防カビのために標本箱の中には
ぼうちゅうざい ぼうふざい い むしあいこうか なか くふう せつび ほどこ じしん かじ
防虫剤・防腐剤を入れている。虫愛好家の中にはさらに工夫や設備を施し、地震や火事か
ら守る部屋を作っている方もいるらしい。

こくりつ けんりつ はくぶつかん せつび ととの こんちゅう
もちろん、国立や県立などの博物館にはそういった設備が整っていて、あらゆる昆虫、
カビやキノコ、植物、鉱石、動物のはく製や、乾燥保存が出来ない生き物は液浸標本など
にして収められている。

しぜんかい ふうしゅう せしょうしゅう ひょうほん たいせつ あ
自然界で普通種であっても希少種であっても、標本としてとても大切なものがあり、
むし むし あなど おお ひと けいひ せいり かんり
虫ケラ・虫のくせに…と侮ることなかれ、とても多くの人や経費をかけて整理されて管理さ
れています。

はな とり こんちゅう うみべ あそ
～ 花と鳥と昆虫と海辺に遊ぶ ～
つるかめクラブ 江頭 正